

平成 29 年度発掘調査速報展

はじめに

発掘調査速報展は、弘前市教育委員会が平成9年度から毎年開催しているもので、今回が 21 回目となります。本速報展は、本市が実施した発掘調査の成果について紹介すると共に、遺跡の保護についてご理解とご協力を得られることを願い、開催しているものです。

今回紹介する遺跡は、平成 29 年度に実施した市内 13 遺跡 14 か所の発掘調査のうち、^{みやだて}宮館遺跡、^{みやもと}宮本遺跡、^{さかもとだて}坂本館、^{しせきつがるししろあとひろさきじょうあとちようしょうじがまえ}史跡津軽氏城跡弘前城跡長勝寺構（^{あんせいじ}安盛寺）の4遺跡です。

平成 30 年 3 月現在で本市の遺跡数は 455 か所を数えますが、未発見の遺跡がまだまだ多数存在していることと思われます。もし、みなさんの周りで土器や石器を発見したら、ぜひ文化財課までご連絡下さるよう、お願い申し上げます。

紹介遺跡の調査要項

遺跡名	所在地	主な時代	調査期間	調査面積	調査原因
宮館遺跡	大字宮館字宮館沢	縄文	10月19日～10月27日	9㎡	個人住宅建築
宮本遺跡	大字五代字山本	平安	7月18日～7月28日	14㎡	個人住宅建築
坂本館	大字館後字新田	縄文・平安・中世	6月20日～11月30日	1,207㎡	市道改築
長勝寺構	大字西茂森	近世	5月17日～6月9日	40㎡	本堂等増築

宮館遺跡

宮館遺跡は、弘前市街地から北西約 8.7km、岩木山東麓地に所在し、^{だいばちがわ}大蜂川の支流である^{にわとりがわ}鶏川・^{たざわがわ}多沢川に挟まれた標高約 30m の台地上に立地します。現況はりんご畑及び宅地です。

調査の結果、近世以降の土坑 1 基、近世以降と推定される^{みぞあと}溝跡 1 条、近世以降や時期不明の^{ちゅうけつ}柱穴跡 16 基が検出されました。遺物は、

多量の縄文土器のほか、石器、中世・近世の陶磁器が出土しています。縄文土器は、縄文時代後期前葉の^{とこし}十腰内 I 式が多くみられますが、中期後葉の^{だいぎ}大木 10 式併行の土器や縄文時代後期初頭の土器もあります。



宮本遺跡

宮本遺跡は、弘前市街地から北西約 7.6km、弘前市五代集落の西端に所在し、岩木川支流の^{うしろながねがわ}後長根川右岸、^{たかだてやま}高館山から北東に延びる標高約 65m の段丘上に立地します。現況は宅地及びりんご畑です。

調査の結果、平安時代の溝跡 1 条・柱穴跡 6 基が検出されました。遺物は、9 世紀後半から 10 世紀前半のものと考えられる土師器、須恵器が出土しています。



史跡津軽氏城跡弘前城跡長勝寺構（安盛寺）

史跡津軽氏城跡弘前城跡長勝寺構は、弘前城から南西約1kmに所在します。大鱈山地から北に延びる弘前台地の西縁に位置し、標高は47～67m、西側は15～20mの高低差を有する急崖となっています。安盛寺は、その長勝寺構のうち、^{こうしゅんいん}耕春院（^{そうとくじ}現宗徳寺）の門前に形成された^{あかもんどお}赤門通り^{あかもんどお}にあり、宗徳寺からは南側1軒目に位置し

ています。安盛寺は、創建年は不詳ですが、元は^{ふかうら}深浦村（^{ほりこし}現深浦町）にあり、後に堀越（^{ほりこし}現市内）へ移転し、^{けいちよう}慶長年間（1596～1614）に現在地へ移転したと伝えられています。今年度は、本堂等増築に伴い、試掘調査を実施しました。

調査の結果、近代の土坑8基（うち墓跡7基）が確認されました。また、遺物は、土師器片3点と、近世の陶磁器・銭貨、近代の陶磁器・^{きせる}煙管等が出土しました。



坂本館

坂本館は、弘前市街地から南西へ約10kmの^{ひがしめや}東目屋地区^{ひがしめや}に位置しており、中世の城館として周知されています。岩木川の支流である^{くらすけさわがわ}蔵助沢川^{かがんだんきゅう}左岸の河岸段丘^{かがんだんきゅう}上に立地し、標高は約82～98mです。市道整備に伴い、平成28・29年度に発掘調査を実施しました



平成29年度の発掘調査では、^{どころ}縄文時代の土坑^{はいせきいこう}、^{どころ}配石遺構^{はいせきいこう}、平安時代以降の^{みぞあと}溝跡^{うねじょういこう}、^{うねじょういこう}畝状遺構^{うねじょういこう}（^か畑の跡）などの遺構が検出され、遺物は^{はしき}縄文土器^{こせん}、石器^{とうじ}、土師器^{はしき}、古銭^{こせん}、陶磁器^{とうじ}などが出土しました。溝跡は、幅約4m、深さ約1.5m、延長約20mの規模を測り、遺跡南西端の台地縁辺を巡るように構築されています。

2か年の調査成果をまとめると、^{たてあなだてものあと}縄文時代の^{たてあなだてものあと}竪穴建物跡^{たてあなだてものあと}2軒・土坑93基・^{どきまいせついこう}土器埋設遺構^{どきまいせついこう}2基・捨て場1か所・^{はいせきいこう}配石遺構^{はいせきいこう}1基、平安時代の^{たてあなだてものあと}竪穴建物跡^{たてあなだてものあと}2軒、平安時代以降の^{みぞあと}溝跡^{うねじょういこう}2条・^{うねじょういこう}畝状遺構^{うねじょういこう}5面となります。

坂本館は、縄文時代のムラ、平安時代のムラが営まれ、中世には城館として利用されていたことが、2か年の発掘調査によって分かりました。

【展示に関するお問い合わせ先】

弘前市教育委員会 文化財課埋蔵文化財係（岩木庁舎3階）

〒036-1393 弘前市大字賀田一丁目1-1 TEL 0172-82-1642（直通）